

大会名	平成24年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 男子1回戦
No. 24	2012年7月29日 16:10
場所	いしかわ総合スポーツセンター



君は希望どおり
緑の大地を駆けぬける
平成24年度全国高等学校総合体育大会
2012 北信越かがやき総体

石川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

チームA	チームB
光泉	県立能代工業
滋賀県	秋田県
85 ●	100 ○
19 1st 26	
17 2nd 26	
24 3rd 20	
25 4th 28	
	OT

主審: Referee
宇地原尚彦 本部
第1副審: Umpire1
野津 健 島根県
第2副審: Umpire2

テーブルオフィシャル: Table officials
金沢泉丘高等学校

No.	S	光 泉	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	木 伏 健 太	15	2	4	4	10	1	3	3	6	6	12	6	0	0	4	32
5	*	富 永 拓 哉	6	1	3	1	9	1	2	1	1	1	2	4	0	0	2	38
6	*	山 形 昇 平	11	0	1	5	10	1	3	5	1	0	1	1	0	0	2	33
7	*	服 部 晃 己	24	0	0	12	17	0	2	3	3	10	13	2	1	0	5	28
8		松 本 真 弥	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	3
9		藤 堂 慧	2	0	0	1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2
10		山 田 和 輝	2	0	0	1	3	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	3
11		内 藤 嵩 暁	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12		杉 聖 真	9	1	2	2	7	2	2	3	1	2	3	1	0	0	0	20
13		杉 本 亮太郎	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
14		東 大 洋	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	8
15	*	雲林院 昌 人	14	0	0	7	10	0	4	5	7	2	9	0	1	3	0	30
HC		寺 田 均 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	4	3	7	-	-	-	0	-
合 計			85	4	10	34	79	5	16	23	24	28	52	14	3	4	15	200
				40%		43%		31%										

No.	S	県立能代工業	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	土 屋 真 人	11	0	3	4	7	3	4	3	2	7	9	7	0	0	1	29
5	*	佐々木 健 登	10	0	0	4	13	2	3	2	2	5	7	1	1	1	0	26
6		松 本 大 河	12	1	1	4	8	1	3	1	4	4	8	2	4	1	0	23
7	*	野 里 惇 貴	30	6	13	3	7	6	8	1	2	1	3	2	0	2	0	30
8		砥 綿 啓 伍	4	0	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
9		畠 山 凌	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
10		中 島 強 太	16	0	1	7	9	2	3	5	1	3	4	2	3	0	1	23
11	*	五十嵐 駆	6	0	0	2	4	2	4	2	1	8	9	0	0	0	1	26
12	*	小田桐 匡 志	1	0	0	0	0	1	2	1	0	3	3	0	1	0	0	11
13		長谷川 暢	4	0	1	2	4	0	0	2	2	3	5	1	0	0	0	9
14		吉 川 雄 磨	6	0	0	3	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	12
15		荒 木 直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2
HC		佐 藤 信 長 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	1	4	5	-	-	-	1	-
合 計			100	7	19	31	59	17	29	18	15	39	54	15	9	5	6	200
				37%		53%		59%										

SS担当: 星稜高等学校

45年連続50回目の出場を誇る能代工業と、8年連続9回目の出場となる光泉との対戦は、互いに速い展開でハイスコアな試合となったが、終始激しいDefからの速攻で試合の主導権を握った能代工業が100-85で勝利した。

第1ピリオド: 光泉はハーフコートのマンツーマンDef、対する能代工業はオールコートプレスを交えたDefでスタート。互いに激しいプレッシャーからの速攻を主体に、速い展開で一進一退の攻防を繰り返す。光泉は能代工業のプレッシャーをかいくぐり、#7のミドルシュート等で加点。一方の能代工業もドライブやゴール下で着々と得点を重ね、26-19と能代工業リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド: 序盤から能代工業のプレッシャーDefが機能し、光泉のターンオーバーを誘い得点を重ねる。光泉も粘り強いDefから#15のゴール下などで応戦。残り3分から能代工業#4、#10を中心とするバランスの良い攻撃が連続で決まり、徐々に点差が広がる。光泉は#7、#8のアウトサイド、#4のドライブで相手の攻撃を寸断するも、52-36と能代工業がリードを広げて前半終了。

第3ピリオド: 開始早々、光泉は#15の高さを生かしたリバウンドやゴール下、#7のアウトサイドシュート等で点差を縮める。対する能代工業もプレッシャーDefを継続しながら#7、#10を中心に加点し、追撃を許さない。能代工業が引き離しにかかるが、光泉#15のブロックショットやリバウンドで食い下がり、72-60と能代工業リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド: 反撃の糸口をつかみたい光泉だが、能代工業のゾーンDefを崩すことができず、ターンオーバーから失点。光泉は#6のバスケットカウントで悪い流れを寸断するが、能代工業の巧みな攻撃に対しファールがかさむ。その後、能代工業は#4の力強いドライブや#8の速攻、#7の3ポイントシュートなどで次々に加点。対する光泉も果敢な攻撃で必死に食い下がるが、攻守にわたって終始安定した力を発揮した能代工業が100-85で勝利した。

大会名	平成24年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 男子2回戦
No. 40	2012年7月30日 15:00
場所	いしかわ総合スポーツセンター



君は希望どおり
緑の大地を駆けぬける
平成24年度全国高等学校総合体育大会
2012 北信越かがやき総体

石川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

チームA		チームB
県立能代工業	(23 1st 22)	土浦日大
秋田県	(20 2nd 22)	91
80	(17 3rd 21)	茨城県
●	(20 4th 26)	○
	OT	

主審: Referee
平原 勇次 本部
第1副審: Umpire1
小谷 将夫 高知県
第2副審: Umpire2

テーブルオフィシャル: Table officials
星稜高等学校

No.	s	県立能代工業	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	土屋 真人	5	0	6	2	3	1	2	2	0	1	1	2	1	0	0	27
5	*	佐々木 健登	12	0	0	6	9	0	0	2	3	4	7	0	0	2	1	36
6		松本 大河	6	0	3	3	6	0	0	4	0	1	1	0	1	1	1	18
7	*	野里 惇貴	37	9	13	3	7	4	4	2	0	0	0	1	1	1	1	38
8		砥綿 啓伍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9		畠山 凌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10		中島 強太	12	0	0	5	9	2	2	5	1	7	8	1	0	0	2	25
11	*	五十嵐 駆	0	0	0	0	2	0	0	2	0	3	3	0	0	0	0	17
12	*	小田桐 匡志	8	2	5	1	3	0	0	3	0	1	1	2	0	0	0	19
13		長谷川 暢	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	2	0	0	0	0	11
14		吉川 雄磨	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	9
15		荒木 直	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		佐藤 信長 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	0	-
合計			80	11	28	20	39	7	8	26	5	19	24	6	3	4	5	200
					39%		51%		88%									

No.	s	土浦日大	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	九々 堅伍	15	3	5	2	9	2	3	1	1	4	5	1	1	0	0	35
5		矢口 敬介	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	8
6		櫻井 直也	2	0	0	0	0	2	2	4	2	2	4	2	0	1	0	18
7	*	山崎 拓	26	3	10	4	9	9	10	0	0	5	5	4	1	0	1	38
8		飯塚 健汰	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	*	中野 広大	19	3	10	3	8	4	4	1	3	5	8	0	2	0	0	37
10	*	上山 敦士	20	0	0	8	21	4	7	3	4	9	13	3	1	0	1	39
11		梅澤 洋輔	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1
12		菊田 光里	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13		吉田 恭平	4	0	0	2	5	0	0	5	0	1	1	0	0	1	1	11
14	*	本村 亮輔	2	0	1	1	5	0	0	3	1	0	1	3	0	0	0	10
15		霜 多龍	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1
HC		佐藤 豊 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	0	-
合計			91	9	26	20	57	24	34	18	12	29	41	13	5	2	3	200
					35%		35%		71%									

SS担当: 金沢商業高等学校

男子2回戦、激しいDefからの速攻で初戦に勝利した能代工業と延長戦の末、接戦で初戦を制した土浦日大の対決は、後半要所でしっかりと得点を決めた土浦日大が91-80で能代工業とのハイスピードゲームに勝利した。
第1ピリオド、共にフルコートの激しいDefから速い展開のやり合いが続く。能代工業は#7が確率の良いシュート次々と決め得点を重ねる。対する土浦日大も#4、#7を起点としたOffで得点重ねていく。お互いに一步も譲らない展開が続く22-23で能代工業が1点リードで終了。第2ピリオド、能代工業は激しいフルコートゾーンプレスで相手にプレッシャーをかける。対する土浦日大も2-1-2ゾーンDefで相手のミス誘うなど簡単に得点をやらない。能代工業は#5のドライブや#4の速攻で得点を重ねる。それに対して土浦日大も#10の力強いインサイドや#4のアウトサイドシュートで得点し、一進一退の攻防が続く。土浦日大は第2ピリオド残り30秒、#7のフリースローで逆転に成功し44-43と土浦日大1点リードで前半を終える。第3ピリオド、土浦日大は#7を中心に攻め得点を重ねる。土浦日大の#7がアウトサイドシュートを決めれば、すぐさま能代工業の#7がアウトサイドシュートを決め返すといった両者譲らない展開となる。その後も両チームともにハイスピードな展開は衰えることなく試合は進む。能代工業は62-56とリードされたところでタイムアウト。流れを変えたい能代工業はDefをさらに激しくプレッシャーをかけていく。しかし土浦日大#9が3Pを沈め、流れを渡さない。65-60と土浦日大リードで第3ピリオド終了。第4ピリオドに入っても両チームの体力は衰えを見せずハイスピードな展開は続く。能代工業はアウトサイド陣が果敢にドライブを仕掛けるが中々得点につながらない。土浦日大は#10のバスケットカウントや#9の3Pで突き放しにばかり、残り4分10点差とリードする。能代工業も#5のリバウンドシュートなどで粘るが土浦日大#7が要所でしっかりとシュートを決め追撃を許さない。最後は能代工業がファウルゲームに持ち込むが土浦日大の選手がしっかりとフリースローを決め91-80で試合終了。
勝った土浦日大はもちろん、負けはしたが最後までリバウンドルーズボールへの執念、そして諦めない気持ちを見せ続けてくれた能代工業も讃えたい。